

三猿又庫

# 平市公報

第廿七號

昭和十五年六月十五日

## 辭令

五月二十七日  
書記補ヲ命ス 給九級俸

馬場 武太郎

五月三十一日  
防空係勤務

書記 鈴木 信雄

六月七日  
依願解職

元平市書記 鈴木 信雄

六月十四日  
退職給與金參百圓給與

書記 渡邊 源彌

## 行政區長會

平市行政區長會議ハ六月十三日午前九時市役所會議室ニ於テ開會、宮城途拜、默禱、市長挨拶ニ次テ會議ニ移リ時局下統後事務ノ遂行ト市制ノ刷新向上ニ關シ指示注意ノ上更ニ協議研究ヲ重ネ午後二時三十分散會シタリ、會議ニ於ケル指示注意事項左ノ如シ

指示事項  
一、密蔵網ノ整備ニ關スル件

### 注意事項

- 一、戰時食糧報國運動ニ關スル件
  - 一、紀元二千六百年記念簡易保險一戸一件増加々入運動ニ關スル件
  - 一、乳幼児體力向上指導ニ關スル件
  - 一、軍人援護事業ノ擴充強化ニ關スル件
  - 一、國勢調査ニ關スル件
  - 一、米穀ノ需給調整ニ關スル件
  - 一、米穀ノ増産確保ニ關スル件
  - 一、物資需給調整ニ關スル件
  - 一、物價調整ニ關スル件
  - 一、農業勞力調整ニ關スル件
  - 一、賃金臨時措置ニ關スル件
  - 一、砂糖配給ニ關スル件
  - 一、紀元二千六百年奉祝統後奉公祈誓大會ニ關スル件
  - 一、稅制改正ニ關スル件
- 注意事項
- 一、現任者名簿整理ノ件
  - 一、國民精神總動員機構改組ニ關スル件
  - 一、貯蓄獎勵ニ關スル件
  - 一、興亞奉公日ニ關スル件

- 一、要扶助者ニ對スル救護ノ徹底ニ關スル件
- 一、兒童保護普及ニ關スル件
- 一、防空訓練實施ニ關スル件
- 一、自給肥料増産並施設改善強化ニ關スル件
- 一、小農地免租ニ關スル件

### 海軍記念日行事

第三十五回海軍記念日たる五月二十七日を迎ひ市民は戸毎に國旗を掲げて祝意を表し、在郷軍人分會海軍部に於ては出征海軍人ノ家族を慰問し更に松ヶ岡公園忠魂碑前に集合、皇軍の武運長久を祈願せり、又市内各學校に於ても夫々訓話を爲し其の他生徒の身心を鍛鍊する等三十五年前の日本海大海戦當時を偲び大に海軍思想の鼓吹に努めたり、尙五月二十八日午後七時より市内公會堂に於て海軍中佐竹下直豐氏を講師とし記念講演を行ひたり

### 海軍志願兵入團者壯行會

本年度海軍志願兵入團者の爲め五月二十七日午前十時より縣社子鏡倉神社に於て市役所、在郷軍人聯合分會、市會議員、區長、青年團、愛國國防婦人會其の他參集入團者の武運長久祈願の上神符を配付し更に市公會堂に於て壯行會を舉行し所定の順序に従へ先づ開會の辭、宮城達彦、武運長久祈願、默禱を捧げ、市長の送辭、市會議長(代理)聯合分會長、青年團長の祝辭、入團代表の答辭萬歳三唱を以て式を終了後參會者一同にて茶菓を饗し散會せり

### 在滿郷土部隊慰問團壯行會

平市田町花柳登代藏師外六名を以て組織せる在滿郷土部隊慰問團七名一行は五月二十二日新潟港を出帆渡滿することとなるを以て市に於ては之が壯行會を開催し、五月十八日午前十時縣社子鏡倉神社に皇軍武運長久と慰問團一行の無事安穩を祈願し午後一時より公會堂日本間に於て將士への土産に選びたる二十餘種の歌舞音曲の試練をなし參會者一同の好評を博せり更に午後四時より會員百餘名より成る壯行會に移り盛大裡に午後六時散會したり

### 防空訓練實施

本年度第一次防空訓練は六月七日より十三日迄七日間實施したるも本訓練は軍防空訓練に即應し實戰狀況下に於ける防空監視隊の防空監視及之に伴ふ情報通信並に警察官警及市町村に至る迄の防空警報傳達資材の強化促進を圖るを目的とし實施せられ極めて良好なる成績を收め終了したり、尙第二次第三次訓練は左の如く實施せらるゝ豫定なり

- 第二次訓練 自七月 一日 至九月 三十日 の間約七日間(地域的に行はる)
- 第三次訓練 十月中

### ラヂオ放送塔設置

ラヂオ聴取の重要性に鑑み豫て本市よりの疎情に對し仙臺中央放送局に於ては市内適當場所に設置することとなり本月十一日放送局係員出張、市保

員立會の上公會堂庭園の一隅に燈籠型の放送塔を設置せり、今後重要ニ  
ニース、講演等同一送塔を通じて市民一般聴取し得べく文化的施設の恩恵  
蓋し大なるものあるべし

### 慰問袋發送

平市銃後奉公會に於ては今回戦線郷土勇士に慰問袋を贈呈すべく女子青年  
團員の助力を得て包装をなし慰問袋には將士に贈る銃後奉公會長青沼市長  
の慰問の辭、縣壯子鐵倉神社、飯野八幡神社の御神符、小學生の慰問文、  
郷土状況を掲載せる地方新聞、其の他菓子類、日用品を取交ぜた内容豊富  
なものとせり、尙平市銃後奉公會長の慰問の辭左の如し

出征將士各位

初夏の候となりました

大陸の天地も清新の氣充ち満ちて、明朗なる雰圍氣中に森羅萬象悉く躍  
動感じ得ざる風情にあるかと察せられます、殊に汪精衛氏政権の誕生に  
よりて、支那大半が容共抗日の夢より醒め防共親日東亞融合の本然の姿  
に返り眞に乾坤一擲の王道政治實現にスタートを切つた新支那に於てを  
やであります

却説各位には勇躍征途に就かれてより早くも幾年月かを経、野に伏し山  
に寝風雨寒暑に耐へ困苦欲乏と戦ひ、硝煙彈雨の下に生死を超越し義勇  
奉公の大精神に基し勇猛果敢なる、その活躍こそ銃後一億國民の感謝感  
激措く能はざる處であります

新政權の誕生は東洋平和の爲眞に慶賀に堪へませぬが此の政權を援助育  
成して東亞新秩序を建設する迄には今後相當長い期間を要し一面大なる  
犠牲と一層深刻な艱難とを伴ふことが考へられるのであるが、此等は一

に八紘一宇肇國の大精神に基く東洋永遠の平和を建設すべき生みの惱み  
であり、世界に誇る日本民族に課せられたる試練に外ならぬと思ふので  
あります

聖戰爰に滿三年、我皇の御稜威の下第一線將士の勇戰奮闘と銃後國民の  
協力とによりて克く此の試練に堪へて來たのであるが、歐洲第二次動亂  
の擴大による影響や國際情勢の複雑微妙な動きを考ふるべき時局の重大  
性は寧ろ今後のあることを痛感するのであります、従つて第一線の各位  
も銃後の吾々も其の責任が一層加重されて來て居るものと申さねばなり  
ません、何卒此の際一層の健康を保たれ、御武運の長久に振古未曾有の  
國難打開に御奮闘の程を切望いたします

銃後吾々一同も出征將士の心を心として努力精進をいたし各位に後顧の  
憂なからしむる様深く御誓いたします

今回些少ながら慰問品を贈呈することにしたし本日縣壯子鐵倉神社、同  
飯野八幡神社に於て市民多數の參前を得各位の武運長久を祈願し御神符  
をも同封御送りいたしました次第であります

時下大陸の炎熱甚だしきものと存じます一層御自重を祈ります

皇紀二千六百年六月一日於興亞奉公日

平市銃後奉公會長 青沼 鋒 太郎  
市長

### 市葬執行

故陸軍火工曹長中野喜平氏ノ市葬ハ六月六日午後一時ヨリ市公會堂ニ於テ  
青沼市長代理助役司祭者トナリ委員長、副委員長、市葬儀係員夫々分擔、  
盛大嚴肅裡ニ執行セラレ式場ニハ陸軍三長官、帝國在郷軍人會長、軍人援

護會長、大日本傷痍軍人會長、關係各部隊長、福島聯隊區司令官、市名譽職員、官衙長、學校長、隣接町村長、各種團體ヲ始メ一般市民多數參列所定ノ順序ニ依リ參崎委員長開式ヲ宣シ一同英靈ニ對シ拜禮ノ上神式佛式ニ移リ次テ市長ノ祭詞、陸軍三長官、帝國在郷軍人會長、軍人援護會長、大日本傷痍軍人會長、高木部隊長、福島聯隊區司令官弔詞代讀、在郷軍人會平市聯合分會長、平警察署長弔詞、其ノ他逐次弔詞玉串奉奠燒香ヲナシ弔電披露終テ一同拜禮、市長代理助役ノ挨拶、遺族代表ノ謝詞、次テ閉式ノ辭ニテ午後三時十分終了シタリ、更ニ序列ヲ整ヘ沿道各學校生徒堵列一般市民ノ葬送ヲ受ケ市内性源寺ニ埋葬セラレタリ

### 五月中文書收受發送數

庶務	財務	產業	兵務	戶籍	工務	社會	學務	合計
收受	二七四	一四六	一四一	二二四	三四九	七一	二〇七	一九五
發送	一七三	二八	二二三	三六四	三三九	七九	五四五	四〇六
計	四四七	一七四	三六四	五七八	六八八	一五〇	七五二	六〇一
								三七、五四

### 五月中戶籍寄留件數

出生	死亡	婚姻	離婚	其他	計
本籍	五八	二六	四三	四	一七七
非本籍	二四	一七	二	一	四四
計	八二	四三	四五	四	二二一
戶籍謄抄本	三五四	一四	三七五	五八	九一
關覽					一四九
證明					九
住所寄留					一二
出縣屆					九
寄留謄抄本					九
關覽					一二
計					一二

### 五月中諸證明件數

種別	件數	料金
印鑑	一三四	二六、八〇
身分	一〇七	一一、四〇
土地延物	一一三	二〇、六五
其他	六	一、二〇
計	三六〇	七〇、〇五

### 五月份救護狀況

種別	世帯數	人員	延人員	金額
一般救護	三六	一〇一	三、一三一	三四五、〇三
母子救護	一一	一一	三四一	四〇、三〇
計	四七	一一二	七四四	六九、一三
本市住民	一三六	二四	四、二二六	四五四、四六

### 五月中埋火葬

埋葬	死亡	死亡	火葬			本市住民	他市町村氏	計
			計	甲	乙			
計	一六	一四	一五	一〇	五	一〇八、五	一〇、五	一二、〇
本市住民	一〇	八	九	五	四	一〇〇、〇	五、〇	一〇五、〇
他市町村氏	六	六	六	五	一	八、五	五、五	一四、〇

### 傳染病患

病名	四月ヨリ本月發生	計	入院	全治	死亡	五月末現在
傷チフス	四	三	三	三	〇	三
チフテリア	一	一	一	一	〇	一
猩紅熱	一	一	一	一	〇	一
計	五	五	五	五	〇	五

### 五月中公會堂使用狀況

使用回数	使用料
二四	一一、八〇
一	〇
計	一一、八〇

### 日用品小賣相場

(昭和十五年五月末調)

品名	單位	價格
品名	單位	價格
白米一等	一キロ	三一〇
同二等	〃	二〇五
同三等	〃	三〇〇
白麥	〃	一九〇
平麥	〃	二四五
味噌(並)	一キロ	八五〇
醬油(〃)	一升	五〇〇
清酒(〃)	〃	九〇〇
木炭(楢丸)	一キロ	四六〇
本炭(楢丸)	一キロ	四四〇
同(雜丸)	〃	四三〇
砂糖(白)	百匁	一八七
同(赤)	〃	一六八
同(黑)	〃	一一八
豚肉(上)	百匁	六〇〇
同(並)	〃	四〇〇
牛肉(上)	〃	六〇〇
同(並)	〃	四〇〇

### 公益質屋事業成績

(五月分)

職業	貸付狀況		質物種類		口數	貸付狀況		辨濟狀況	
	狀況	狀況	種類	券		狀況	狀況	狀況	狀況
職業者	一九	五	債	券	〃	二七	〃	三二	
勞働者	四〇	九	家	具	〃	一	〃	二	
俸給者	二五	六	裝	身	〃	七	〃	二	
小工業者	九三	三八	衣	類	〃	一〇	〃	七	
小商人	二五	六	其	他	〃	七	〃	二	
農業者	〃	〃	計		〃	一〇	〃	八	
漁業者	〃	〃	金	額	〃	一〇	〃	八	
其ノ他	八三	六三	利	子	〃	一〇	〃	八	
計	二六〇	一一一			〃	四、四〇、六〇	〃	一、九九、九〇	

### 委員會

- 五月二十一日 土木委員會
- 〃 二十五日 石炭採掘委員會
- 六月三日 方面委員會
- 六月八日 工業學校委員會
- 〃 商業學校委員會
- 〃 十二日 石炭採掘委員會
- 〃 十三日 工業學校委員會

昭和十五年六月十五日

發行所 平市役所

發行人 青沼鋒太郎

福島縣平市長橋町三五番地

印刷者 川崎文治

福島縣平市長橋町三五番地

印刷所 常盤每日印刷株式會社

電話 六三〇番